

<基本情報>

施策名	工業用水の安定的な供給				<input type="checkbox"/> 内部等管理業務	施策コード	10 - 03
計画等の位置付け	総合計画	○	未来づくり戦略	—	前年度に二次政策評価意見を付与	所管部(局)名	企業局
	地域重点プロジェクト	—	特定分野別計画	○	—	作成責任者名	企業局長 田邊 隆久
						照会先グループ・内線	総務課総務企画グループ 内線(32-728)
						関係課名	工業用水道課

<計画：Plan> 業務目標の設定：各部署が実施

1 業務目標及び今年度の取組	(1)業務目標 [当該施策分野において目指すべき具体的な姿]	(2)今年度の取組 [予算や組織改編等への反映状況]
	<p>道営工業用水道事業は、産業立地条件の整備の一環として豊富低廉な工業用水の安定的な供給を行い、本道経済の発展に資することを経営の基本としている。</p> <p>平成27年3月に策定した「北海道工業用水道事業経営健全化計画」(H27~H31)においては、黒字の継続、未処理欠損金の低減、石狩工水の収支改善等を基本方針に据え、更なる経営基盤の強化を図るため、石狩湾新港地域を重点とした需要の拡大、支出抑制策、減資制度の活用を視野に入れた未処理欠損金の低減などに取り組み、計画期間中全ての年度で純利益を計上すること、未処理欠損金を可能な限り低減することを目標としている。</p> <p>収支計画に基づく平成27年度の主な数値目標は、契約水量256,385m³/日、当期純利益91百万円、未処理欠損金13,756百万円であり、これらの達成に向けて、更なる経費の削減を図るとともに、工水需要の拡大を図るため石狩湾新港地域を重点としたPR活動に継続して取り組む。</p>	<p><主な取組></p> <p>①工業用水の安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 道営工業用水道事業は、室蘭地区工業用水道、苫小牧地区工業用水道、石狩湾新港地域工業用水道の3事業により、計327,000m³/日の給水能力をもって営業している(平成27年4月1日現在契約水量 251,808m³/日)。 <p>②経費削減の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業債利息の低減(内部留保資金の活用による企業債借入額の抑制、企業債元金据置期間の短縮、弾力的な借入先・借入条件の選択等を検討) 苫小牧、石狩の管理運営包括委託の継続(H22~29(4年契約×2回)) 室蘭ダム管理業務等委託の長期継続契約(H27~30(4年契約)) <p>③需要開拓の取り組み(新規等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩湾新港地域の工業用水配水管路沿線企業等を対象に新規受水等を要請 企業誘致イベントへの参加による工水PR 専門紙(日本経済新聞等)に工水PR・主催イベント周知等の広告を掲載 経済団体、商工会議所における部会等を通じた会員企業への工水PR 工業用水を原料としたペットボトル飲料の作成・配付による工水PR 室蘭工水「幌別ダム」の『ダムカード』配布による道営工水事業の理解の促進
2 前年度意見への対応	(1)前年度「改善意見」 [二次政策評価における「5改善意見」の内容]	(2)改善意見への対応 [前年度評価「5改善意見」への対応状況]
	<p>(具体の意見内容)</p> <p><input type="checkbox"/> 総計</p> <p><input type="checkbox"/> 公約</p> <p><input type="checkbox"/> 行財政改革</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <p><input type="checkbox"/> 前年度二次意見</p> <p><input type="checkbox"/> 指標設定</p> <p><input type="checkbox"/> 重点課題</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	(具体の主な取組)

<実行：Do> 施策の推進

平成27年8月1日現在

3 具体の取組	主な取組・実績 ◎：前年度意見への対応 ○：主な取組 ●：主な実績
	<p>(具体の主な取組・実績) ※構成事業は別表1のとおり</p> <p>① ①工業用水の安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道営工業用水道事業は、室蘭地区工業用水道、苫小牧地区工業用水道、石狩湾新港地域工業用水道の3事業により、計327,000m³/日の給水能力をもって営業している。 <p>② ●契約水量(H27.3.31現在 251,756m³/日、H27.8.1現在 251,808m³/日)</p> <p>②経費削減の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業債利息の低減(内部留保資金の活用による企業債借入額の抑制、企業債元金据置期間の短縮、弾力的な借入先・借入条件の選択等) ●《室蘭工水》H26：内部留保資金の活用により企業債の借入額を抑制し支払利息の後年度負担を節減、H27：H26の取り組みに加え、期中において企業債元金据置期間の短縮、弾力的な借入先・借入条件の選択等を検討 ○《苫小牧工水・石狩工水》管理運営包括委託(H22~)の継続 ●経費削減の効果を維持するため、管理運営包括委託を継続(初回：H22~H25 4年契約、継続：H26~H29 4年契約)。 ○《室蘭工水》ダム管理業務等委託の長期継続契約の導入(H27~) <p>③ ●委託費の更なる削減を図るため、長期継続契約を導入(H27~H30 4年間)</p> <p>③需要開拓の取り組み(新規等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各工水の需要開拓に資するため、工業用水の利用等に関心のある企業、企業誘致担当部署、受水企業の担当者等を対象とした施設見学会を開催。 ●施設見学会の開催(H26：「石狩」・「室蘭(新規)」計2回、H27：「石狩」・「苫小牧」計2回予定)※H25からは年度内2施設(従前石狩のみ)で開催 ○石狩湾新港地域の工業用水配水管路沿線企業等を対象に新規受水等を要請 ●H26~H28 → 計画的に実施(予定) ※文書送付の対象企業 H26：55社 H27：46社 ○経済団体、商工会議所における部会等を通じた会員企業への工水PR ●H26・H27→パンフレットを配付済 ※「札幌の食関連産業部会」や「道商連の全道専務理事会議」などでのパンフレットの配付を依頼 ○企業誘致イベントへの参加による工水PR ●H26：道内1回・道外「メッセナゴヤ」など2回のイベントに参加、H27：開催情報を収集しながら◎と同程度の参加を予定○専門紙(日本経済新聞等)に工水PRや主催イベント周知等の広告を掲載 ●H26：日経②・北海道通信②・食品産業①計5回掲載 H27：H26と同様の掲載を予定○道庁ブログを活用した工業用水のPR ●道営工業用水の新たなPRのツールとして、H26から道庁ブログを活用しており、H27も継続中。 ○工業用水を原料としたペットボトル飲料水、ロゴ付き定規及びクリアファイルの作成・配付による工水PR ●安心・安全・安価な道営工業用水をより身近に感じていただくため、PR資料を作製イベントや施設見学会等で配付し周知を図っている。 H26：定規・クリアファイル作製 H27：ペットボトル飲料・クリアファイル作製 ○「需要開拓促進委員会」及び「経営評価委員会」の開催 ●石狩工水の需要開拓など経営改善の取り組みについて、協議する場として開催している。 H26：計3回、H27：計4回予定 ○室蘭工水「幌別ダム」の『ダムカード』配布による道営工水事業の理解の促進 ●道営工業用水道事業が室蘭地区・苫小牧地区・石狩湾新港地域で展開していることなどをPRしている。 ※H27.3.30配布開始

<評価: Check> 一次政策評価: 各部署が実施

平成27年8月1日現在

一次政策評価の結果	4 (1)進捗状況の判定(詳細は、別表2のとおり)										
	① 各成果指標の進捗状況 [左: 指標名、右: 進捗割合]										
	A 定量的指標	①契約水量	概ね順調	②当期純利益	順調	③未処理欠損金	順調				
	② 総合判定結果		順調								
	区分	進捗割合の指標数						B 定性的指標			
		順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他				
	定量的指標	2	1			3					
	定性的指標					-	-				
	計(比率)	2 (67%)	1 (33%)	- (-)	- (-)	3 (100%)	-				
総合判定	○										
(2)課題											
①喫緊の課題					②中長期的な課題						
(具体の主な内容) 【石狩工水の経営改善】 ・石狩工水は、需要の伸び悩みにより、平成21年度から契約水量が計画値を下回っているほか、その影響により3工水全体でも平成24年度から、契約水量が計画値を下回る状況が続いている。 ・経営面においても、平成11年度の開業以来、赤字を継続しているため、一般会計から営業運転資金等を長期借入している状況である。 ・このような状況から、石狩工水においては、引き続き需要開拓に取り組み契約水量を増加させることにより経営改善を図り、長期借入金の単年度借入額を低減することが課題となっている。					(具体の主な内容) 《「北海道工業用水道事業経営健全化計画」(H27~H31)の着実な達成》 【経営健全化計画期間内全ての年度における純利益の計上】 ・工業用水道事業会計は、平成11年度以来の赤字から脱却した平成23年度から4期連続で黒字を確保しているが、更なる経営基盤の強化を図るため、「計画期間中全ての年度で純利益を計上すること」を目標としている。 【未処理欠損金の低減】 ・苫東工水及び石狩工水の需要の伸び悩みによる収支不足の累積や未稼働資産整理に伴う特別損失などにより、多額の累積欠損金(②末で約157億円)を抱えていることから、未処理欠損金を可能な限り低減することを目標としている。						
(3)施策の方向性 [(1)、(2)を踏まえ、取組の強化、改善などの方向性を記載]											
(対応方針)											
A	【石狩工水の経営改善に向けた取り組み】 ・石狩工水については、人件費の削減や委託の見直しなど、様々な経費の削減に取り組んできており、今後ともこの取り組みを継続することに加え、収益(契約水量)の増に向け、企業誘致を所管する部局との連携を図るとともに、企業の立地動向などを注視しながら情報収集に努め、企業に対する積極的な働きかけを行い、水需要の拡大に取り組んでいく。										
B	【経営健全化計画期間内全ての年度における純利益の計上に向けた取り組み】 ・更なる経営基盤の強化を図るため、石狩湾新港地域を重点とした需要の拡大、内部留保資金の活用による企業借入額の抑制や企業債元金据置期間の短縮、弾力的な借入先・借入条件の選択等による企業債利息の低減などの支出抑制策などに取り組む。室蘭地区・苫小牧地区・石狩湾新港地域を合わせた工業用水道事業会計で、全ての年度で経営健全化計画に計画に定める純利益を確保するよう努める。										
C	【未処理欠損金の低減に向けた取り組み】 ・企業誘致担当部局等との連携強化や個別の企業訪問等により情報収集を行い、新規及び増量要望の動向把握に努め給水収益の増加を図る。 ・水需要の拡大のほか、可能な範囲で室蘭工水及び苫小牧工水の経営費用の見直しに取り組む。工業用水道事業会計全体の当期純利益を拡大させることにより経営改善を進めていく。 ・さらに、経営健全化計画期間内に、地方公営企業法の改正に伴い可能となった「資本金の額の減少」、いわゆる「減資」制度の活用を視野に入れた未処理欠損金の低減に取り組むこととしている。										

<評価: Check> 二次政策評価: 知事が実施

二次政策評価の結果	5 改善意見
	【意見区分】 <input type="checkbox"/> 総計 <input type="checkbox"/> 公約 <input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革 <input type="checkbox"/> 進捗状況 <input type="checkbox"/> 前年度二次意見 <input type="checkbox"/> 指標設定 <input type="checkbox"/> 重点課題 <input type="checkbox"/> その他 (具体の意見内容) 【行財政(公営企業)】 「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項について(総務大臣通知)」などを考慮し、「経営戦略」の策定とこれに基づく経営基盤強化等が必要であることから、引き続き北海道企業局経営計画に基づき経営基盤強化等に取り組むこと。

<改善:Action> 評価結果の反映:各部局が実施 平成28年3月末現在

6 評価結果の反映	(1)予算等への反映 [予算や組織改編等への反映状況]	(2)改善意見への対応 [「5.二次政策評価の結果 改善意見」への対応状況]
	(具体の主な取組) <新たな取組等> 平成27年3月に策定した「北海道工業用水道事業経営健全化計画」(H27~H31)に基づき、更なる経営基盤の強化に取り組んでいく。 ○経費削減 ・企業債利息の低減(内部留保資金の活用による企業債借入額の抑制、企業債元金据置期間の短縮、弾力的な借入先・借入条件の選択等を検討) ○需要開拓(新規等) ・石狩湾新港地域の工業用水配水管路沿線企業等を対象に新規受水等を要請 ・企業誘致イベントへの参加による工水PR	(具体の主な取組) 【行財政(公営企業)】 工業用水道事業では、国の指定を受け取り組んできた「工業用水道事業未稼動資産等整理経営健全化計画」(H18~H26)に引き続き、平成27年3月に、『経営戦略』の記載事項を盛り込んだ『北海道工業用水道事業経営健全化計画』(H27~H31)を策定し、中長期的視点に立った企業局全般に関わる経営方針や事業の取組みなどを定めた「北海道企業局経営計画」に追加したところであり、これら二つの計画を合わせ「北海道工業用水道事業」の『経営戦略』として位置付け、更なる経営基盤の強化を図るための取組を推進している。

成果指標の分析結果

施策名	工業用水の安定的な供給	所管部	企業局		
		施策コード	10	—	03

A 定量的指標の進捗状況

※年度毎の進捗率 目標値の欄の()表示は、経過年としての参考値

指標名(単位)・グラフ	指標の分析				
1) 契約水量 (m³/日) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
	室蘭地区・苫小牧地区・石狩湾新港地域における契約水量の合計値。		区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a	257,669	H31
	①③		現況値b	251,756	H26
			達成率b/a	97.7%	
年度毎の進捗率					進捗度合
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	概ね順調
目標値c	258,958	261,318	262,118	256,385	
実績値d	250,686	251,076	251,756		
進捗率d/c	97%	96%	96%	0%	
2) 当期純利益 (百万円) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
	工業用水道事業会計の当期純利益 (“-”は当期純損失を示す)		区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a	216	H31
	②③		現況値b	126	H26
			達成率b/a	58.3%	
年度毎の進捗率					進捗度合
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	順調
目標値c	-54	30	59	91	
実績値d	57	109	126		
進捗率d/c	—	363%	214%	0%	
3) 未処理欠損金 (億円) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
	工業用水道事業会計の未処理欠損金 室蘭-利益、苫小牧・石狩-欠損		区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a	81	H31
	②③		現況値b	157	H26
			達成率b/a	193.8%	
年度毎の進捗率					進捗度合
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	順調
目標値c	228	212	195	138	
実績値d	201	180	157		
進捗率d/c	112%	115%	119%	0%	
4) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
			区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a		
			現況値b		
			達成率b/a	—	
年度毎の進捗率					進捗度合
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
目標値c					
実績値d					
進捗率d/c	—	—	—	—	
5) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
			区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a		
			現況値b		
			達成率b/a	—	
年度毎の進捗率					進捗度合
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
目標値c					
実績値d					
進捗率d/c	—	—	—	—	

※単年毎に設定している目標値、毎年同じ目標値となっている指標については、中長期目標の達成率に記載がありません。

B 定性的指標の進捗状況

指標の内容	指標の分析	
	関連する主な取組	当該年度の進捗状況等
		進捗度合
2)	関連する主な取組	当該年度の進捗状況等
		進捗度合
3)	関連する主な取組	当該年度の進捗状況等
		進捗度合

進捗状況の総合判定結果

区分	進捗度合の指標数						総合判定結果
	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他	
定量的指標	2	1			3		順調
定性的指標					—	—	
計	2	1	—	—	3	—	
(比率)	(67%)	(33%)	(—)	(—)	(100%)	—	
総合判定	○						

(総合判定結果に関する特記事項)